

令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）  
「多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究」 分担研究報告書

## 千葉県肝炎医療コーディネーター（肝 Co）養成講習内容と肝 Co 均てん化の課題

研究分担者：是永匡紹  
国立研究開発法人国立国際医療研究センター  
肝炎・免疫研究センター/肝炎情報センター 肝疾患研修室長

**研究要旨：**健発 0203 第 4 号（令和 5 年 2 月 3 日）の通知により、肝 Co 活動維持が重要な課題となった。本研究では、千葉県感染症審議会肝炎対策部会委員として①千葉県肝 Co 養成・継続研修の実態調査、及び「肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる方策の確立に資する研究班（是永班）」と連携し②全国養成研修講座開催状況調査を行った。①令和 3 年度までは、自治体向け、それ以外（医療機関）向けと 2 回開催されていたが、令和 4 年度以降は 1 回、ハイブリッド+オンデマンド併用となり、養成者数が急増した。また増大した肝 Co の活動維持のため、継続研修会を 4 回に増加させ、継続率も向上した。②養成研修は 36 自治体（77%）コロナ禍後も 3 県以外は web（Live or OnDemand）を利用、講習時間の中央値 3 時間であった。講習内容も、肝炎対策基本指針・肝炎対策推進室/肝炎情報センターの存在・A 型肝炎・E 型肝炎・自己免疫性疾患・標準予防策等の講義は、施行されていなかった。今後は肝 Co 活動維持のみならず、知識の均てん化も課題として、養成講習内容の統一化、web を応用とした継続研修の回数を増加させ、学習機会を与えることが必要である。

### A. 研究目的

2016 年に改正された肝炎対策基本指針には治療薬の進歩に伴い「肝硬変・肝がんへの移行者を減らすこと」を目標とすることが明記され、効率的に非受検者を対象に肝炎ウイルス検査を受検させること、拾いあげた陽性者を確実に専門医療機関へ受診させることがより急務である。その対策として多職種による肝炎医療コーディネーター（肝 Co）養成が全国で勧められている。本研究では「肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる方策の確立に資する研究班（受検受診向上班）」と連携し、肝 Co 養成研修の実態を行った

### B. 研究方法

・千葉県・受検受診向上手法（是永）班との連携研究 1 ⇒千葉県の肝 Co 養成・継続研修について調査した。  
・受検受診向上手法（是永）班との連携研究 2 ⇒47 都道府県に対して、肝 Co 養成研修に

関するアンケート（14 問）を行った。

### C. 研究結果

#### ・千葉県・受検受診向上手法（是永）班との連携研究 1

##### 千葉県肝 Co 養成研修開催概要；

平成 26 年（2014 年）から肝 Co 養成をパイロット的に開始、新たに平成 29 年度より「千葉県肝炎医療コーディネーター養成研修会」を自治体向け、それ以外（医療機関）向けと 2 回開催を会場に集合して開催した。令和 2 年度（2020 年）は、コロナ禍の影響を受けハイブリッド配信にて開催、令和 4 年度以降は 1 回、ハイブリッド開催+オンデマンド併用している。講習時間に規定はないものの、3.5~4 時間（確認試験込）、任期は 5 年で、この期間に養成・継続研修を受講すれば 1 年更新される。



## 養成講習内容（下図）

講習時間の中央値 3 時間（1.5-6.5）であった。講習内容も、肝炎対策基本指針・肝炎対策推進室/肝炎情報センターの存在・A 型肝炎・E 型肝炎・自己免疫性疾患・標準予防策等の講義は施行されていない。

Co養成講習会で教えている内容(47都道府県にアンケート調査)						
赤色はほとんど地域で講義に含まれていない→肝Co養成者には更なる講義が必要						
肝炎対策基本指針	肝炎対策推進室	肝炎情報センター	県立病院（相談支援センターの案内等）	診って肝炎	肝炎対策ポスター	研修 連絡
検査数・陽性率	肝がん死亡率	フォローアップ事業	治療動向（B・C型肝炎ウイルス）	肝がん・重症肝硬変	初回検診検査動向	定期検査動向
A型肝炎	B型肝炎	C型肝炎	E型肝炎	自己免疫性肝疾患	脂肪肝	アルコール
血液検査の読み方	肝硬度	受診継続の重要性	肝硬変の合併症	肝硬変の治療	運動 栄養療法	肝がんの診断方法
肝がん治療（内科）	肝がん治療（外科）	肝移植	B型肝炎ワクチン	標準予防策（感染予防）		その他

↑赤枠は養成講習会で講義されていない

## D. 考察

千葉県では、会場開催から令和2年度ハイブリッド開催、令和4年度から12月にハイブリッド開催に加え1月から3月にオンデマンド配信を開始、会場のみ、ハイブリッド開催のみの際は6-70名であったか、オンデマンド配信は150名前後の参加が得られた。実際、令和4年度では27自治体がオンデマンド配信を利用している。養成講習内容は新規性に欠けるため、前年度と同様の内容を配信する自治体もある。その一方で、養成講習内容には各地域でばらつきも多く、講義時間の差もあるため肝Co養成者の理解・認識度も均てん化しているはいえず、継続した知識供与が必要である。

千葉県では令和4年度で約1000名弱の肝Coが養成されていたが、令和3年度までは養成講習の再受講が必要であったが、令和4年度からは、肝臓学会や拠点病院が主催する市民公開講座や肝Co研修会も継続研修として、広く肝Coへ周知し多くの継続者が確認された。更に、養成講習で説明していないA・E型肝炎の講義が愛知県の肝Co研修会での開催案内を千葉県肝Coに締切前に

共有したところ、20名が参加した（下図）

令和5年度 愛知県肝臓学会Coコーディネーター勉強会

共同主催：  
一般社団法人愛知県歯科医師会  
厚生労働科学研究費補助金肝炎等克服政策研究事業  
「肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる方策の確立に資する研究」班

3. 講演 「肝炎ウイルスによる食中毒～A型肝炎とE型肝炎～」

180名申込  
締切3日前に千葉県肝Co関係者連絡  
⇒千葉県からも20名が参加  
知識を得られる機会を増加  
他地域の研修会も継続研修へ  
(研究班でも動画をup data⇒利用可)

更に、3月に脂肪肝をテーマに継続研修を開催、千葉県肝Co以外にも全国拠点病院や産業医への案内したところ、267名が参加希望、184名が受講され、千葉県肝Co95名、千葉県以外の肝Co34名 産業医55名であった。（下図）

令和5年度 千葉県 肝炎医療コーディネーター 継続研修会

申込数 267名  
↓cancel 3名 + 30分前登録8名  
参加予定256名  
↓入室無63名 入室後短時間退出9名  
参加者184 (出席率72%)  
+パネリスト5名

\*千葉県肝Co認定者  
申込数 126名 (全体の45.6%)  
↓cancel 2名 + 30分前登録6名  
参加予定119名 (全体の44.5%)  
↓入室無17名 入室後短時間退出6名  
参加者95 (出席率80%)  
=全体の51%

\*産業衛生担当(肝Co取得者ほぼ無)  
参加予定91名 (全体の35.5%)  
↓入室無33名 入室後短時間退出3名  
参加者55 (出席率50%)

終了後のアンケート調査では、次回の継続研修希望テーマでは、アルコール・脂肪肝が多く、加えて千葉県肝Coは助成制度の詳細を希望されており、次回テーマを参加者に調査し特徴をつかむことが必要である。




また会議開始前に、FIB-4・奈良宣言の認知度を調査したところ、全体で50%の参加に周知されていた（下図）が、千葉県肝C0より産業医のほうが、認知度が低く、養成講習内容の重点項目（シラバス）の作成と継続研修内容の確立が必須と考えられた。



また、肝C0活動内容も検査促進・助成制度周知・受診促進のみならず、啓発活動や肝臓病教室・継続研修会参加も肝C0活動であることを周知することも必要である。千葉県では肝C0養成者に下記のアンケート実施中である（下図）

**肝C0からのご意見・・・ 養成後が重要**

- ・活動があまりできてない（何をしてもかわからない）
- ・肝疾患にあまりふれる機会がない
- ・施設での肝C0としての活躍の場がない
- ・メリットがないと継続・増員できない（インセンティブ）



番号	事項	報告内容
1	肝表の啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発する事項に内容が分けていない。(複数回答可)</li> <li>・肝表の基本的知識に関する普及啓発</li> <li>・肝表に関する情報入手先・相談先の案内</li> <li>・啓発活動への参加・周知</li> <li>・市民公開講座・継続研修等への参加</li> </ul>
2	受検・受診の継続等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発する事項に内容が分けていない。(複数回答可)</li> <li>・肝表ウイルス検査の受検案内・勧奨</li> <li>・検査施設者への受診勧奨、専門医療機関の案内</li> <li>・継続受診の重要性の説明</li> </ul>
3	支援制度の案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発する事項に内容が分けていない。(複数回答可)</li> <li>・フォローアップ事業の案内</li> <li>・訪問検査検査や定期検査の費用助成、肝表医療費助成等の制度の案内</li> </ul>

肝表医療コーディネーターになって

- ・啓発する事項に内容が分けていない。(複数回答可)
- ・肝表に関する情報に関する関心を持った
- ・感染対策・予防の知識が増えた
- ・肝表患者さんの気持ちも考えようになった
- ・差別・偏見について許容するようになった

### E. 結論

肝C0養成者数は全国で3万人以上であり、今後は養成者数増加のみならず、研修内容に重点をおくことにシフトすべきである。

活動内容も知識のレベルアップも肝C0活動であることも周知することも必須である。

### F. 政策提言および実務活動

#### <政策提言>

肝炎情報センター研修室長、肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる

方策の確立に資する研究班の代表者として、拠点病院、都道府県に調査を行い、肝C0の配置・認知度が均てん化されていない実状を報告し、継続研修会の活発化・肝C0活動内容の明確化を提言した。

#### <研究活動に関連した実務活動>

千葉県感染症審議会肝炎対策部会委員として養成・継続研修会の企画・開催・講師の実務を行った。

また東京都・香川県・徳島県での肝C0養成講習の講師を行い研究班内容を周知し、薬害肝炎・広島県B型肝炎原告団・弁護団にも肝C0活動の現状について講演を行った。

### G. 研究発表

#### 発表論文

1. 井上 泰輔 井出 達也 内田 義人 小川 浩司 井上 貴子 末次 淳 池上 正 瀬戸山博子 井上 淳 柿崎 暁 榎本 大 立木佐知子 遠藤 美月 永田 賢治 是永 匡紹

拠点病院以外の肝疾患専門医療機関における院内肝炎ウイルス陽性者対策調査 肝臓 64(12) 510-513 2023.

2. 廣田 健一 井上 貴子, 小川 浩司, 荒生 祥尚, 遠藤 美月, 池上 正, 戸島 洋貴, 末次 淳, 柿崎 暁, 瀬戸山 博子, 榎本 大, 是永 匡紹 肝炎ウイルス陽性者対策が急がれる非肝臓専門科は 肝臓 64(11) 587-589. 2023

3. 磯田 広史, 榎本 大, 高橋 宏和, 大野 高嗣, 井上 泰輔, 池上 正, 井出 達也, 徳本 良雄, 小川 浩司, 瀬戸山 博子, 内田 義人, 橋本 まさみ, 廣田 健一, 柿崎 暁, 立木 佐知子, 井上 貴子, 遠藤 美月, 島上 哲朗, 荒生 祥尚, 井上 淳, 末次 淳, 永田 賢治, 是永 匡紹 肝疾患診療連携拠点病院における肝炎医療コーディネーターの現状 (第2報) 肝臓 64(10) 510-513. 2023.

4. 大原正嗣、小川浩司、長谷川智子、新明 康弘、坂本直哉、是永 匡紹 眼科外来に肝炎医療コーディネーターを配置することによる肝炎ウイルス陽性者対策の推進 肝臓 64(6) 289-291. 2023

#### 啓発活動（肝C0向け講習会）

1. 是永 匡紹 令和5年度千葉県肝炎医療コーディネーター養成・継続研修会 2023年

- 12月25日 1月29日～3月1日千葉県主催
2. 是永 匡紹 令和5年度 東京都肝炎(医療・対策)コーディネーター養成研修会(期間限定配信) 2023年11月8日～12月6日  
東京都主催
3. 是永 匡紹 令和5年度香川県肝炎医療コーディネーター養成講習会 主催香川県  
2024年2月23日
4. 是永 匡紹 令和5年度徳島県肝炎医療コーディネーター養成講習会 主催 徳島県  
2023年9月3日

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし